



MAD MassCoreモードの設定

MAD - MassCore モードでは、MAD バーチャル ASIO ドライバ(WDM ブリッジを含む)を使用して、ASIO 入出力を MassCore システムで統合することができます。

MAD - MassCore モードでは、MT ASIO ブリッジを使用して MassCore エンジンと通信を行います。MassCore エンジンには常にサンプリングレートマスターとして動作し、サードパーティ製 ASIO アプリケーションは MassCore のサンプリングレートに追従します。

注意点:

Pyramix / Ovation を MassCore モードで動作させるには、Pyramix / Ovation のパックの他に MassCore の認証キーが必要です。

Anemanは、VAD (Mac)/MAD (PC)ドライバとは別にダウンロードし、インストールする必要があります。

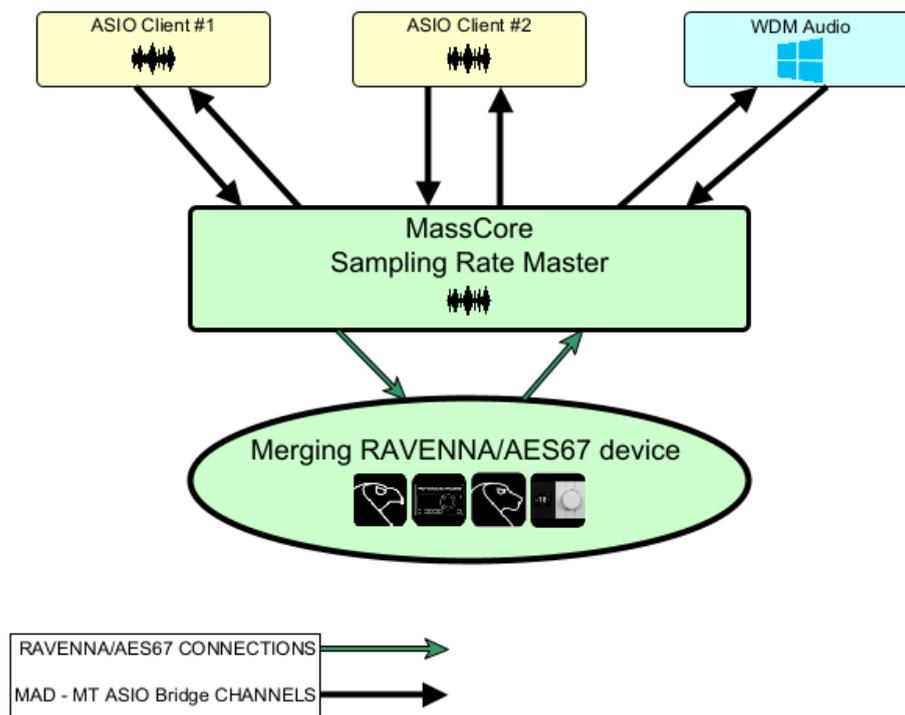
制限事項:

デバイス・モジュールのネーミングはUniteモードでのみ可能です。

現在、DSDサンプリングレートには対応していません(Hepta SRCを使用したDXDプロジェクトをご利用ください)。

入力と出力のチャンネル数は同じです。

MassCore アプリケーションの実行中にチャンネル数を変更することはできません。変更を適用するには、アプリケーションを再起動する必要があります。

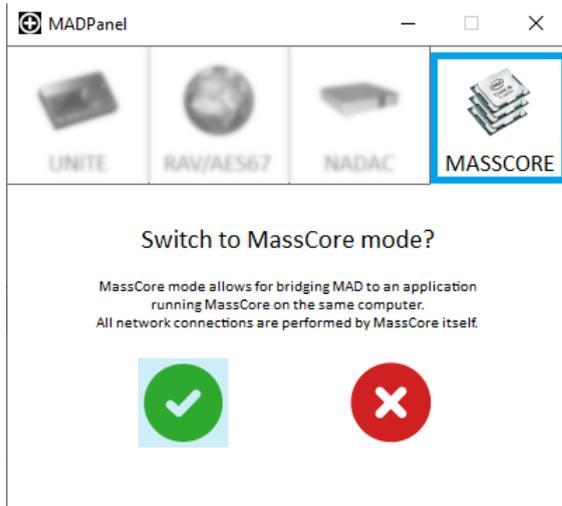


MADのMassCoreモードでは、ASIOの入出力をMassCoreシステムに統合することができます。

MassCoreエンジンは、常にサンプリングレートのマスターとして機能し、ASIOアプリケーションはMassCoreのサンプリングレートに従います。現在、DSDモードはサポートされていません。

1. Merging Audio Device パネルを開きます。
2. MADパネルでMassCoreモードタブを開き、MassCoreモードに切り替えます。

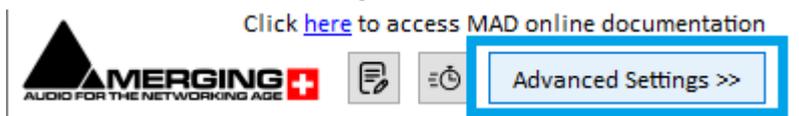




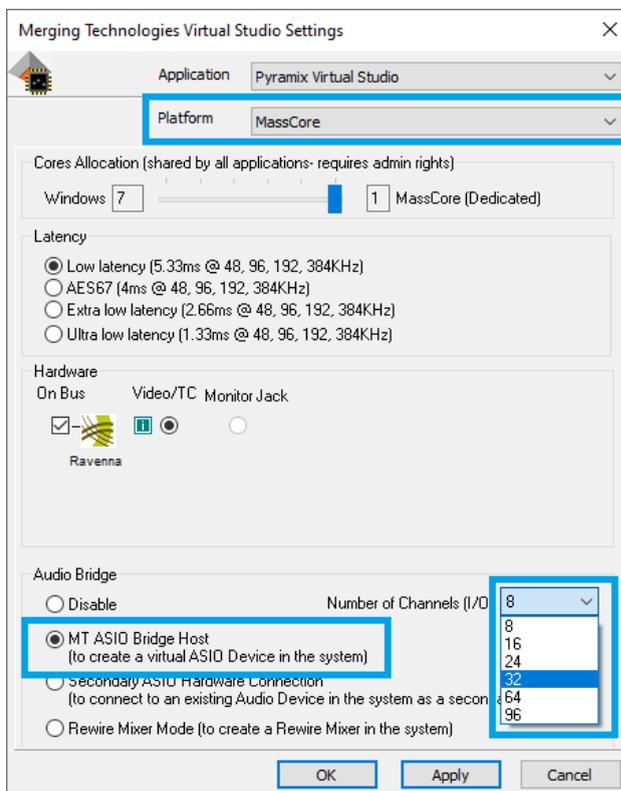
Note: パネルに Bridge が初期化されていない、MassCore が起動していないことが表示されますが、これは正常です。

Warning: Switch to MassCore mode ? で緑色のチェックをクリックすると切り替わります。この時、オーディオストリームは停止し、入出力が切断されます。

3. UIの下にある Advanced Settings ボタンをクリックします。



4. コントロールパネル > VS3 Settings を開き、MT ASIO Bridge Host を選択して、使用したいチャンネル数を Number of Channel (I/O) で設定します。この項目はドロップダウンで、8、16、24、32、64、96 から選択できます。入力と出力の数は、同じ数となります。





5. ここで設定した数値がMADの Advanced Settings を開いた部分にある Channel Settings の Inputs と Outputs に設定されます。

Click [here](#) to access MAD online documentation

MERGING AUDIO FOR THE NETWORKING AGE

Advanced Settings >>

MADPanel

UNITE RAV/AES67 NADAC MASSCORE

Failed to initialise MT ASIO Bridge.
Please ensure that Masscore is running

Channel Settings

	44.1/48k	88.2/96k	176.4/192k	352.8/384k
Inputs:	8	4	2	1
Outputs:	8	4	2	1
Bridges:	0	0	0	0

Note: The bridge channels are meant for the hosts only and do not affect the Masscore application

6. 以上の設定で、MTASIOブリッジが使用できるようになっています。Pyramix/Ovation を起動してください。
7. バッファサイズは、Pyramix/Ovation の Settings > Hardware > MassCore で変更できます。設定可能な値は、VS3 Control Panel の Latency により異なります (AES67: 48, 96, 192; Low: 64, 128, 256...)。

Pyramix Settings

All Settings

- Hardware
 - Formats & Sync
 - MassCore [dedicated mode]**
 - Routing
 - PCM 44.1, 48kHz
 - PCM 88.2, 96kHz
 - PCM 176.4, 192kHz
 - PCM 352.8, 384kHz

VST Plugins Engine (*)

Buffer Size: 192 [smp]

Nb of Cores: (4) 6 [cores]

MT ASIO Bridge (*)

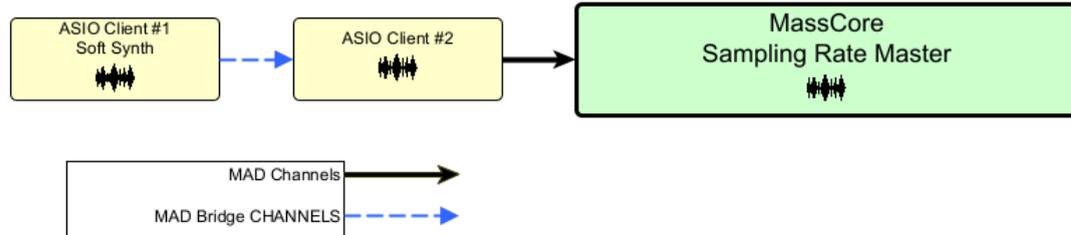
Buffer Size: 192 [smp]



MassCore モードでの MAD Bridge チャンネル

MADのMassCoreモードでは、ブリッジチャンネルは仮想チャンネルです。MassCoreミキサーにルーティングすることはできません。

仮想チャンネルは、ASIOアプリケーション間をつなぐために設計されています。例えばソフトシンセの音はMIDIシーケンサーに送られ、その後、Pyramixミキサーにルーティングされます。



Rewire Mode

MAD MassCoreモードとRewire Mixerモードは、同じMTASIO Bridgeを使用するため、同時に使用することはできません。

Rewire MixerモードでMassCoreを動作させたい場合は、MADの動作モードをRAV/AES67に変更してください。